

株式会社エフエム茶笛

平成 22 年度第 3 回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 22 年 7 月 7 日 (水) 13 時 00 分~14 時 00 分
2. 開催場所 : 株式会社エフエム茶笛 2階 会議室
3. 委員の出席
委員総数 : 7 名
出席委員数 : 5 名
出席委員 : 大山博 (番組審議会委員長) 水村雅啓
天野三千代 飯島静江 宮岡利雄
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 荻野 喜美雄
専務取締役 東 たか子
営業課長 宮岡 洋明
4. 議 題 : 番組内容について
5. 議事概要 : 議題に沿って各委員お一人お一人の放送聴取の感想・意見・疑問点などを挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行、必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答しながら会を進めた。

6. 審議内容

委員長：これより各委員からご意見をいただきます。

委員：全体的に番組が落ち着いて聴けるようになった気がします。私事ですが、ハイチ地震の惨状を知り、あらためてラジオの重要性を感じ、一層聴くようにしているのですが、ウィークデイの朝 7 時台が音楽だけなので飽きてしまうこともあります。運営面で（現状の朝 8 時より）早い時間からの生放送が難しいことは承知しているのですが、個人的には早くニュースを聴きたいところです。また、朝の帯番組「とれたてラジオ」は、様々な情報が詰め込まれていて、情報源として重宝しています。

事業者：運営状況までお察しいただき恐れ入ります。

委員：私は仕事の関係で、入間市民の間では「かわらちょう」と認識されている「河原町（かわらまち）」の交差点名について調べたことがあったのですが、放送では正しく「かわらまち」と発音されていましたね。さて、携帯ラジオと予備の電池の準備を訴求する埼玉西武ライオンズ選手からの防災メッセージが放送中ですが、今期は話題の菊池雄星投手ということでインパクトを感じています。先日は入間市消防本部からの大雨・落雷注意報が即時に放送されていて、行政との連携の強さを感じました。特に大雨時には防災行政無線が聴き取り辛くなりますので、ラジオの有用性を非常に感じました。

事業者：ありがとうございます。

委員：ところで先日、入間市児童センターのイベントに出演していたマジックパフォーマーの介護福祉士マジックマンが、来場者へ盛んにエフエム茶笛のPRをしていました。

事業者：市民ボランティアとして番組制作に参加いただいています。

委員：そうした外向きのPRをしていただけるボランティアスタッフの方々は貴重です。頑張っていたきたいです。

委員長：ラジオを聴くチャンスというのは、「車の中」が最も大きいと思うんです。そういった意味でも、埼玉西武ライオンズの選手たちが呼びかける防災メッセージは非常に良いと思います。エフエム茶笛は、タイミング良く防災の情報を発信してくれます。ラジオを通じて、市民の一人一人の認識が日常的に深まれば、被害を最小限に留められると思います。

他の委員同様ですが、やはり私もこのところ番組は概ね安心して聴くことが出来るようになった気がしています。出席委員の皆様ありがとうございました。これにて議事を終了させていただきます。

(以上で議事終了)